

## 例 言

1. 本書は特別史跡キトラ古墳の環境整備事業に関する報告書である。
2. 特別史跡キトラ古墳は、奈良県高市郡明日香村大字阿部山に所在し、7世紀末から8世紀にかけて造られたと考えられる小規模な終末期古墳である。昭和58年にはじめて壁画の存在が確認されたが、その後、漆喰の剥離など劣化が明らかになったため、文化庁は平成15年7月に空調設備や防菌設備等を完備した仮設保護覆屋を設置した。平成16年から22年にかけてすべての壁画面の取り外しを行って、適切な環境下で壁画の保存修理を行った。一方、墳丘と石室については発掘調査によって規模や保存状況などを明らかにし、平成25年には一連の調査を終えて石室を閉鎖した。その後、仮設保護覆屋の撤去、墳丘の復旧、周辺環境整備を実施した。本報告は石室閉鎖後の墓道埋め戻しから墳丘の環境整備工事、整備と密接な史跡の活用状況の一部について記したものである。
3. 本書の編集は独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が行い、文部科学省大臣官房文教施設企画部（橋本淳深、秋本正博）、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所（古木治郎）、株式会社空間文化開発機構（高瀬和寛）、株式会社理研グリーン（林 秀樹）の協力を得た。
4. 本書の第1章4節の執筆は前川 歩（奈良文化財研究所都城発掘調査部）、Summary 英訳はエドワーズ・ウォルター・ドルー（奈良文化財研究所客員研究員）、その他の編集と執筆は平成21年度～26年度に文化庁文化財部記念物課整備部門でキトラ古墳の整備を担当した内田和伸（当時、文化財調査官、現、奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室長）があたった。
5. 本書掲載写真の内、巻頭写真、第1章4、第4章8（4）の写真は奈良文化財研究所の栗山雅夫、飯田ゆりあ、中村一郎、井上直夫、岡田愛（当時）の撮影で、その他は文化庁および編集者の提供である。